

# 胎内市における地域公共交通活性化・再生総合事業(調査事業)

## 地域公共交通総合連携計画策定調査の必要性

合併による都市構造の変化とともに、中心市街地の空洞化と少子高齢化による市民の生活福祉環境の低下が懸念されている。また、郊外に位置する胎内リゾートの低迷およびJR羽越線による地理的な分断から、新市の一体的発展や交通利便性、回遊性に課題がある。

このような課題から、多様な主体の連携・協働により、まちなかの回遊性を高めるため路線バスを見直し、利用者にとって利便性の高いデマンド交通等の導入を図るとともに、JR中条駅・平木田駅と連携したシームレスな公共交通の確保が重要であり、このような課題に対応するためには「地域公共交通総合連携計画策定調査」が必要である。

## 胎内市地域公共交通協議会

胎内市、新潟交通観光バス(株)、東日本旅客鉄道(株)、新潟県ハイヤー・タクシー協会、学識経験者、住民代表(区長会会長)、胎内警察署、道路管理者、新潟運輸支局、商工会、社会福祉協議会 他

## 総合連携計画策定調査実施計画の概要

### 1) 調査の内容等

#### ◆ 現況交通実態調査

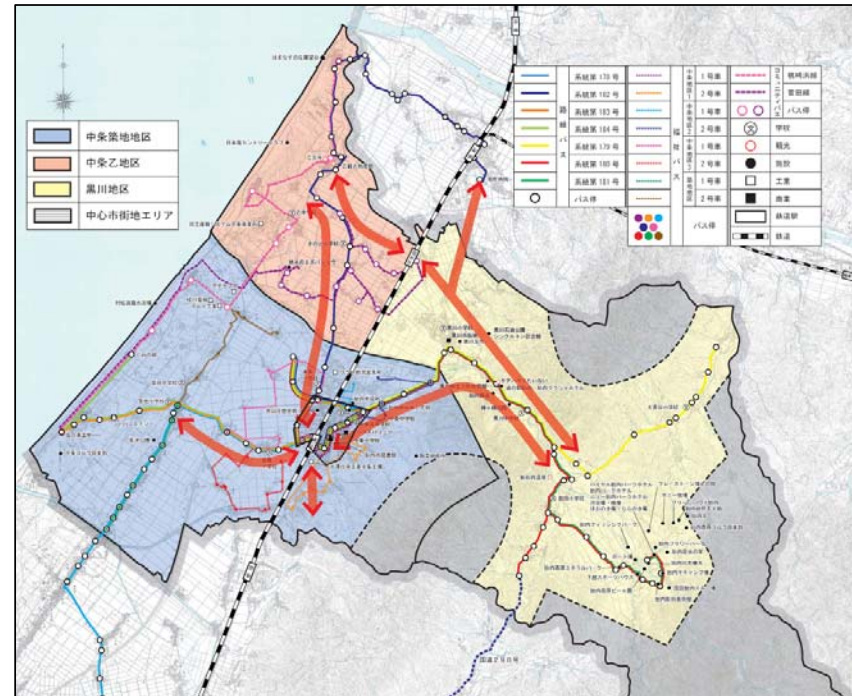
- ・既存のバス、鉄道等公共交通の路線・運行回数等の整理及び利用実態調査・分析
- ・交通空白地帯の把握 など

#### ◆ 利用者ニーズ把握調査

- ・デマンド交通システムの運行形態、料金等のニーズ把握
- ・バス、鉄道利用者への利用状況アンケート調査
- ・高齢者など移動制約者の利用意向調査 など

#### ◆ 交通体系検討調査

- ・デマンド交通システムの調査・検討
- ・既存のバス、鉄道等公共交通の効率的活用の調査・分析
- ・運営主体、運行エリア、料金等の検討
- ・地域全体の公共交通体系の整理に向けた調査・分析 など



【デマンドバス運行エリアイメージ】